

生殖補助医療のための

胚培養士養成講座

近年、ヒトの不妊治療として人工授精、体外受精、さらには顕微授精が日常的に行われています。体外受精で生まれる子どもは新生児の約 2%で、いまや体外受精は不妊治療の主流となっており、実際に担当している人は学会で認定された資格を有することが必要とされています。これらの資格は「生殖補助医療胚培養士」と「臨床エンブリオロジスト」の2種類で、いずれの学会も講習や実習、面接を経て認定されています。主に臨床検査技師や衛生検査技師のほか、動物の生殖を研究してきた人が資格を取るケースが多いようですが、これらのヒトの生殖補助医療に携わる技術者の不足は全国的に指摘されています。

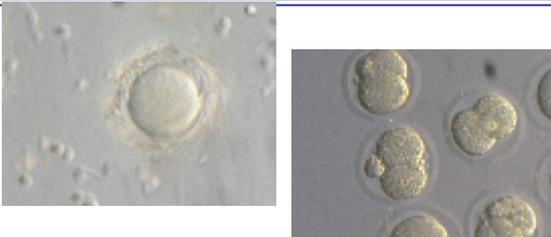
（株）サイエンス・フロンティアズ代表である岩崎は、大学において発生生殖学に関する研究と教育を長年行ってまいりました。その経験をもとに、生殖補助医療に携わることを希望される方々のために、生殖補助医療に必要な基礎知識や実際に用いる技術を習得するための講座、「胚培養士養成講座」を開講いたしました。

* コース内容 *

基礎技術コース（1日）

全くの初心者の方や、卵子の取り扱いを思いっきりやりたい方のためのコースです

- ・講義（計1時間）：
卵子と精子の構造と機能、受精とそのメカニズム、胚の発生、生殖補助医療技術概要
- ・実習（計5時間）：
使用機器の説明、顕微鏡の使い方、卵子操作ピペットの作製、培養用ドロップの作製、動物卵子の採取・ハンドリング・培養



顕微授精技術コース（2日）

顕微授精をとことんやりたい方のためのコースです

- ・講義（計2時間）：
顕微授精による受精のメカニズム、マニピュレーションシステムの原理
- ・実習（計9時間）：
顕微授精のためのホールディングおよびインジェクションピペットの作製、マニピュレーターの使用法、精子と卵子の採取、卵丘細胞の除去、顕微授精、受精後の培養と観察



体外受精技術コース（3日）

体外受精を完全にマスターしたい方のためのコースです

- ・講義（計4時間）：
卵子と精子の構造と機能、受精とそのメカニズム、胚の発生、各種生殖補助医療技術の原理と方法
 - ・実習（計12時間）：
使用機器の説明、顕微鏡の使い方、卵子操作ピペットの作製、卵子操作液の調製、動物卵子・精子の採取と培養、体外受精と体外培養、卵子・胚のガラス化保存・融解、胚の品質評価、染色体標本作製と観察
- * 日程は連続でなくとも調整可能です



* 取得を目指す資格

生殖補助医療胚培養士 (embryologist)

この資格にはさらに上級の生殖補助医療管理胚培養士 (senior embryologist) があります。

認定臨床エンブリオロジスト

< 参考サイト >

哺乳動物卵子学会HP : <http://jsmor.kenkyukai.jp/special/?id=1172>

日本臨床エンブリオロジスト学会HP: <http://embryologist.jp/>

* 就職先

全国の産婦人科病院・クリニック
生殖細胞の研究機関

* 講師紹介

< 岩崎説雄のプロフィール >

株式会社サイエンス・フロンティアズ代表取締役社長。農学博士。元東京農業大学応用生物科学部教授。体細胞クローン羊「ドリー」を作出した英国ロスリン研究所に1年間留学。現在明治大学、大東文化大学、東洋公衆衛生学院にて非常勤講師。担当は遺伝子検査学実習、講義(化学)、ペットからのDNA抽出も担当。著書に「バイオテクノロジー概論」(共著)、朝倉書店、「クローン誕生」、「クローンと遺伝子」とともにK.K.ベストセラーズ、など。

* その他、マウスの体外受精には長年生殖工学に携わった方に、また、生殖補助医療の現状についての講義は、ヒトの生殖補助医療に長年携わっている方にそれぞれお願いしています。

お申込・お問い合わせ

株式会社サイエンス・フロンティアズ (担当 岩崎)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-21-5 松村ビル4F

URL <http://www.sci-front.com>

TEL: 03 - 5785 - 1198 FAX: 03 - 5785 - 1197

E-mail: sfbio@sci-front.com

・受講を希望される方のご経験、スキルに合わせたオーダーメイドのプログラムを組むことも可能です。各コースの経費やご不明な点につきましては何なりとご相談ください。